

ビルマネムノキ (マメ科)

Albizia lebeck (L.) Benth.

一般名：siris, kokko, east Indian walnut (広域); woman's tongue (英)



【概要】 多数の長い花糸が美しい半球形の花序をつくるネムノキ属 (*Albizia*) は、約 160 種が旧熱帯を中心に汎熱帯に分布する。低木が多く、主に飼料や民間薬に利用されるが、高木も各大陸にあり、用材や街路樹用に植栽される樹種も少なくない。中でも本種は古くから各地で植栽され汎熱帯に野生化しているが、天然分布はインド亜大陸と強い乾季のある東南アジア、オセアニアの一部と考えられている。

【形態】 高さ 20m 以上、直径 50cm 以上に達する落葉高木。幹は通直で樹冠を拓げる (写真 a) ので、コーヒーやカカオの庇蔭樹にされる。樹皮は灰色、若い時は平滑 (写真 b)、やがて不規則に裂けて薄片状に剥げる (写真 c)。葉は 2 回羽状複葉、ほぼ無毛、葉軸と羽片の基部に腺体を持ち、羽片は 2~4 対、それぞれに 2~11 対の 15~60×8~35 mm の小羽片をつける (写真 d, e, i)。開葉直後に開花し芳香を放つ。葉腋または小枝先から出た柄の先に 15~40 個の小花からなる散房花序をつける (写真 f)。小花は二形性で、周縁の花は花冠の長さ 7.5~11 mm、萼とともに緑黄色、漏斗状で 5 裂する。雄しべは花冠より長く 15~30 mm、基部が白色、上部が黄緑色 (写真 f)。果実 (鞘) は薄く 15~35 × 3~5 cm (写真 d, g)。種子は鞘に 4~12 個、茶色、長さ 1cm 程度の楕円形 (写真 h)。花期は乾季終期~雨季初期、果期は雨季終期~乾季初期で、鞘は翌年の花期まで枝に残る。

【生態】 熱帯季節林に多いが、年降水量 300~400 mm のサバンナから 2500 mm の熱帯雨林まで

森林再生テクニカルノート：荒廃地修復のための主な植栽樹種

生育し、季節林では成長輪が見られる（写真 j）。陽樹で酸性からアルカリ性の幅広い範囲の pH に適応し、少々の塩分には耐える。岩石地や砂丘などにも生えるが、重粘土や浸水した土壌には適応しない。通常の山火事に成木は耐えるが、若木は地上部が枯れ萌芽する。

【育苗】 取り蒔きは無処理でも大部分が発芽するが、低温貯蔵一年後の発芽率は大きく低下する。全光条件で早ければ3ヶ月で苗高20～30cmに達する（写真 i）。根粒菌がつけば無施肥でも育つが、施肥は有効である。

【利用】 気乾比重 0.71、家具、合板の他、近年、国内でリングア材として床板や集成材（写真 j）が流通。樹皮等からサポニンなど薬用成分が抽出される。

【主な参考文献】 Orwa C, Mutua A, Kindt R, Simons A, Jamnadass RH (2010) Agroforestry Database: a tree reference and selection guide version 4.0. ICRAF. <http://www.worldagroforestry.org/sites/treedbs/treedatabases.asp>. Rojas-Sandoval J, Datiles MJ, Acevedo-Rodríguez P. (2022) *Albizia lebbek*. In: Invasive Species Compendium. Wallingford, UK: CAB International. www.cabi.org/isc. Jøker D. (20007) *Albizia lebbek* (L.) Benth. SEED LEAFLET No. 7. (株)マルホン (2021) リングア—未だあまり知られていない銘木—。コラム「見る木活かす木」【711号】<https://www.mokuzai.com/MailMagazine/199>

(公益財団法人国際緑化推進センター 石塚森吉)

写真 a 樹形 撮影地：ミャンマー、撮影年月：2017年5月、撮影者：石塚森吉

写真 b 若い樹幹の樹皮 撮影地：ミャンマー、撮影年月：2017年5月、撮影者：石塚森吉

写真 c 成熟した樹幹の樹皮 撮影地：ミャンマー、撮影年月：2017年5月、撮影者：石塚森吉

写真 d 果実（莢）をつけた樹冠 撮影地：ミャンマー、撮影年月：2017年5月、撮影者：石塚森吉

写真 e 枝葉 撮影地：ミャンマー、撮影年月：2017年5月、撮影者：石塚森吉

写真 f 散房花序 Photo 226139939/Albizia Lebbeck © Irina Opachevsky | Dreamstime.com

写真 g 若い果実（莢） 撮影地：ミャンマー、撮影年月：2017年5月、撮影者：石塚森吉

写真 h 種子 撮影地：ミャンマー、撮影年月：2017年5月、撮影者：石塚森吉

写真 i 苗木（ポット苗） 撮影地：ミャンマー、撮影年月：2017年5月、撮影者：石塚森吉

写真 j 国内で流通する集成材 産地不明 撮影年月：2021年12月、撮影者：石塚森吉